

## ◆科目15 ICTを用いた新たな授業方法（対象：全教員）

### ①生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題

### ② ICTを活用した、双方向性の授業展開－福祉系高等学校におけるICTの活用を例に－

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業を柔軟に取り入れることで、教授方法を増やすことができる</li> <li>・遠隔授業の手法を取り入れ、他の授業を観ることにより教員間で科目の連携を図ることができる、学生同士・教員間でピアレビューすることができる</li> <li>・ICT初心者でも使用できるGoogle社のG Suiteを活用した福祉教育について知る</li> <li>・アプリケーションツールを活用し、遠隔授業でも対面授業でも双方向の授業ができる可能性について考える</li> </ul>
講師	①吉岡 俊昭／トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 ②中山 見知子／群馬県立伊勢崎興陽高等学校 福祉系列長
研修概要	①実践報告：生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題 ②実践報告：ICT（Google社のG Suite）を活用した、双方向性の授業展開－福祉系高等学校におけるICTの活用を例に－
時間数	①30分／②30分 計60分

#### ①実践報告：生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題

生活支援技術の授業にICTを活用したことで学生の学びが深まった実践を報告した。WEBでの授業を行った数か月は、教員が学校で撮影した実技動画をMicrosoft Teamsを活用して学生に動画を配信した。学生は送られた動画を自宅で見ながら、基本的な動きの練習を家族などと一緒に何度も練習することで、対面授業を再開した際に体の使い方や動きが理解できており、効率よく授業を進めることができた。また、対面授業が始まってからも自分の実技をスマートフォンを使って学生同士で撮影、ピアレビューし自分の実技を見ることで、動きの確認等が効果的にできるようになった。実技試験でも学生一人ひとりの試験風景を動画撮影した。そして学生は試験後すぐに撮影した動画を見ながら、行った支援についてのプレゼンテーションを実施した。学生にとってはICTの活用によって、自分の技術を客観的に見ることで、自分の癖やできていない部分、できている部分を具体的に知ることができるといった効果があった。また教員間では科目間で連携していくために、撮影した実技試験を学科会議で見ながら、学生一人ひとりの習得度を確認した。これにより座学で教えたことが実技の中でどのように活用できているかを教員間でもピアレビューを行ったことで連携が取りやすくなった。このようにコロナ禍で授業が思うように実施できない中でも、学生の学びを止めないよう教員が今できることを積極的に取り入れ、連携していくことが今後必要になってくると考えられる。

#### ②実践報告：ICT（Google社のG Suite）を活用した、双方向性の授業展開

ICTを活用し、リモートで実施した高校生福祉研究発表会について報告した。初めての試みであり、接続が上手くいかないなどのトラブルもあったが一定の教育効果を得ることができた。リモートによる発表会であるにも関わらず、資料の共有表示だけではないアナログを活用した方法で発

表した学校も多くあることに注目したい。ICTとアナログの良さを融合して実践していくことの大切さを感じた。また、GIGAスクール構想で配布されたChromebookを活用して実践した授業報告も行った。Google社のG Suiteにあるアプリケーションを活用することで、対面でも遠隔でも双方向性の授業展開ができる。ICT機器を活用することで、グループ学習が効率的に進み、意見も出しやすくなることで主体的・対話的に学習が行え、深い学びに到達できる事が示唆された。今後、ICT機器は文房具と同じ扱いとなりICT機器を使いこなす子ども達が高等教育にも入学してくる。教員が上手に使いこなせなくても「やってみる勇氣」でICTを活用した講義に取り組んでいくことが必要と考えられる。

令和2年度生活困窮者救済労働支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)  
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」  
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野IV 教育方法に関すること

## 科目15 ICTを用いた新たな授業方法

①生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題

公開期間：令和3年3月3日～12日

吉岡 俊昭 / トリニティカレッジ  
広島医療福祉専門学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の目的

- 遠隔授業を柔軟に取り入れることで、教授方法を増やすことができる。
- 遠隔授業の手法を取り入れ、他の授業を観ることにより職員間で科目の連携を図ることができる、学生同士・教員間でピアレビューすることができる。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の流れ

(1)	生活支援技術を遠隔授業として行った実践報告	10分
(2)	ICTを活用した新しい生活支援技術 学生間・教員間のピアレビューについて	15分
(3)	ICTを取り入れた授業の成果と課題	5分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 遠隔授業の実施（2020年4月～5月）



対面授業が始まった時に効率よく実技が習得できるよう基本的な考え方とからだの使い方等の動画を作成

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 在宅で学生が授業配信を見て練習を実施



【学生からの意見】  
・入学後、実技の授業ができないという不安があったが、授業が配信をされたことで、イメージが付きやすかった。  
・何度も家で練習できるので、対面授業が始まってから、早くクラスメイトと練習したいという気持ちももてた。  
・何度も説明や動きを見直すことができたので理解しやすかった。

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## グループに分け授業を開始 (2020年6月～)



36人を4グループに分け対面授業を開始

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 学生同士で介助している動画を撮影



授業にスマホを持ち込めるようにし、こまめに動画を撮影するように変更

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ICTを活用したピアレビュー (学生間)



接触の機会を減らすだけでなく、自分が行っている介助を客観的に見て分析できる機会となっている。

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 授業外でも動画を活用



放課後自主練習をしている学生

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 要点を実技ノートにまとめる

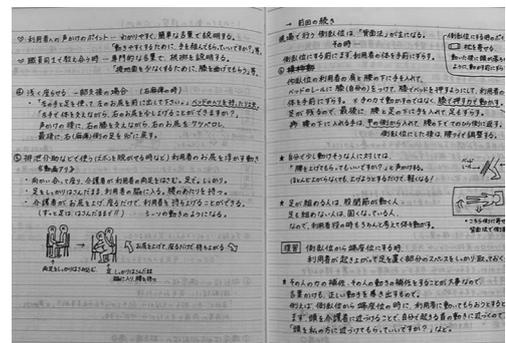
まとめ方は自由 個々の学生がそれぞれ工夫して作成

自宅で実技ノートをまとめる学生



11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 実技ノートの一例



基本的な考え方や要点の理解が深まる機会となっている

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 実技試験でもICTを活用



13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 実技試験でもICTを活用



学生が、実践した支援を  
根拠立てて  
言語化できるようになる

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ICTを活用したピアレビュー（職員間）



学生の現在の能力を学科の教員間で共有できることで、  
一貫した指導を行うことができる

15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ICTを活用した授業の成果

- 教員が授業で一度した実技を何度も繰り返し見られることで習得しやすくなった
- 自分の実技を客観的にみることによって、正しい方法との違いがわかりやすくなった
- 以前よりも動きに関する細かい質問が教員にできるようになった
- 教員自身も自分の実技を見直す機会となっている

16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ICTを活用した授業の課題

- 教員が写真や動画を撮る角度を的確に指示することで、要点が伝わりやすく授業の進行が円滑になる
- 今後も柔軟な発想でICTを活用し、学生の学びを深めていく

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## まとめ

ICTを活用した教育の先に  
ICTが活用できる介護福祉士が育つ

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)  
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」  
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野IV 教育方法に関すること

### 科目15 ICTを用いた新たな授業方法

② ICT (Google社のG Suite) を活用した、双方向性の授業展開  
-福祉系高等学校におけるICTの活用を例に-

公開期間：令和3年3月3日～12日

中山 見知子 / 群馬県立伊勢崎興陽高等学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本研修の目的

- ICT初心者でも使用できるGoogle社のGSuiteを活用した福祉教育について知る。
- アプリケーションツールを活用し、遠隔授業でも対面授業でも双方向の授業ができる可能性について考える。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の流れ

(1)	高校生福祉研究発表会の報告 (群馬県大会と関東大会)	15分
(2)	Chromebook (GoogleのChrome OSを搭載したPC) を活用した授業実践報告	15分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 高校生福祉研究発表会

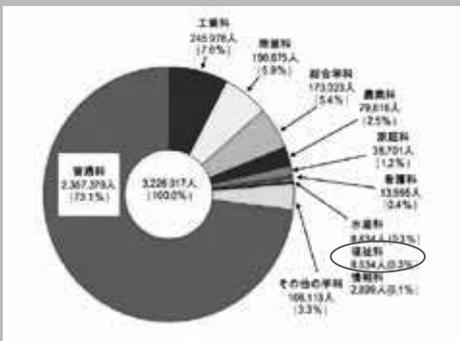
学びを止めるな！！



<http://www.free-powerpoint-templates-design.com>

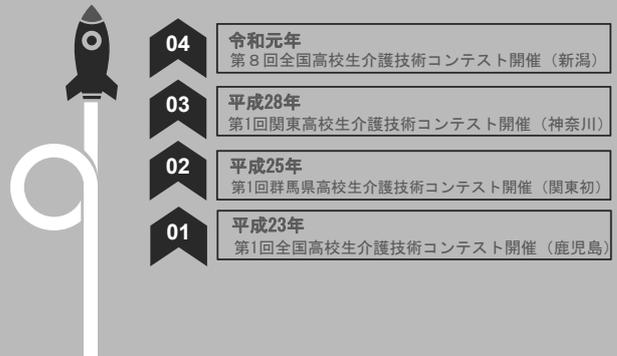
4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 高等学校の学科別生徒数（本科）平成30年度



文部科学省 学校基本調査—平成30年度結果の概要—  
5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 高校生介護技術コンテスト



6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

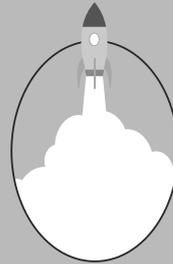
## COVID-19 感染拡大



-  **2020.1.6**  
中国武漢で原因不明の肺炎  
厚労省が注意喚起
-  **2020.2.27**  
安倍首相、全国全ての小中高校  
に臨時休校要請の考え公表
-  **2020.3.11**  
センバツ高校野球  
初の中止決定

COVID-19 トラッカー <https://www.bing.com/covid>  
新型コロナウイルス感染症対策 時刻表  
[https://www.nishi.or.jp/kurashi/anshin/information/k\\_000120200407.files/kensyuhoukokusyo\\_itrnn.pdf](https://www.nishi.or.jp/kurashi/anshin/information/k_000120200407.files/kensyuhoukokusyo_itrnn.pdf)

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



**学びを止めるな!**  
高校生介護技術コンテストに代わる大会を  
リモートで!

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 福祉研究発表会 課題

日立 竜さん(75才・男性)は2年前に脳梗塞で倒れ、左片麻痺と脳血管性認知症の症状があります。介護老人保健施設に入所していましたが、1年前に特別養護老人ホームに移ってきました。

入浴を終え、シャワーキャリーで脱衣場にいます。身体は拭き終わっています。脱衣場の椅子に移乗して服(肌着・下着)を着るまでの支援をしてください。暑がりなので下着を着用後に整容をしてから衣服を着用します。着衣後は整容を行う予定です。

左上肢は拘縮が強くなり痛みを伴うため自分で動かすことが困難であり、ポジショニングが崩れやすく、座位が安定しないことがあります。普段はわずかな距離であれば車椅子で自走されていますが、左側への注意が向きにくい場面が見られます。

立位は、介助者の支えがあれば可能ですが、立位保持能力の低下や痛みがある為、急な膝折れが見られます。



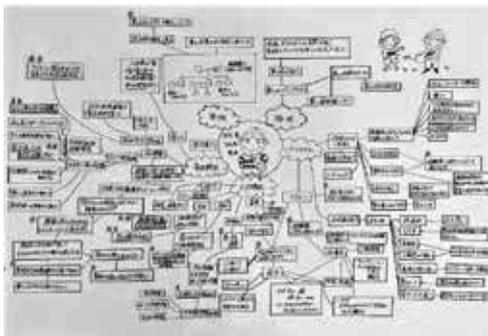
9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



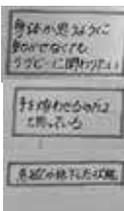
**安心・安全を確保した介護技術**  
～自立支援を基礎とした適切な拘縮ケアの視点から～  
群馬県立新田暁高等学校 アミン 美玖 津久井 菜々花

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 日立さんを考える会



フローチャートから私たちが考えたこと



神奈川県立津久井高等学校 福祉科3年  
考える会代表 山際 桃佳 谷口 賢史 和田 彩季  
考える会会員 3年6組のみんな

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 福祉研究発表会



- 01** 発表する  
リモートでできる  
自由な方法で発表!
- 02** 振り返る(カンファレンス)  
マナーを守った発言。  
ホワイトボードの活用
- 03** 講評(デブリーフィング)  
専門職によるリモート指導

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

**来賓・一般 アンケート（群馬県大会）**  
**発表とても良かった！**

教科書通りのことだけではなく、より深掘りし研究されていて興味深い内容ばかりで勉強になりました。

コミュニケーションも大切なので、きちんと利用者さんの興味がある話題を振るなどきめ細かな配慮がされていてとても良かったです。

きめ細かな一つ一つの配慮が安心感に繋がります。利用者さんとしてもお手伝いをお願いしやすい関係性になります。

13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

**来賓・一般 アンケート（関東大会）**  
**発表とても良かった！**

**リモートの改善が必要**

リモートでの開催という新しい形で研究発表ができてとても勉強になった。

リモートをする時の注意点や改善点も勉強になりました。今後、私達も活用して行けそうです。

リモートはアクシデントがつきものですが、その場合の対応も落ち着いて本部の生徒さんが対応されていたと思います。

ネット環境が悪く、スムーズにいかないこともあったので、そこが良くなればいいなと思いました。

介護技術コンテストと両輪をなす取り組みなので、生徒の学習を深めるために実施できたらいいと思う。

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

**福祉研究発表会**  
学びを止めるな！高校生介護技術コンテストに代わる大会をリモートで！

**01 参加して良かった！**  
準備や指導は大変だが、学びは大きい

**02 リモートの研修を！**  
デバイスの扱いや接続が難しい研修が必要

**03 ICTは手段として活用**  
ICTを活用すればよいのではないアナログの活用も

次はどんな学びを一緒に創る？

15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

**Chromebook**  
(Google の Chrome OSを搭載したPC)  
を活用した授業実践報告

16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

**Jamboardの使い方**

ここ！

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



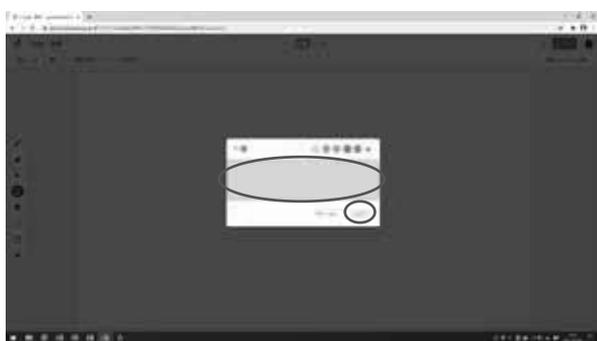
21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



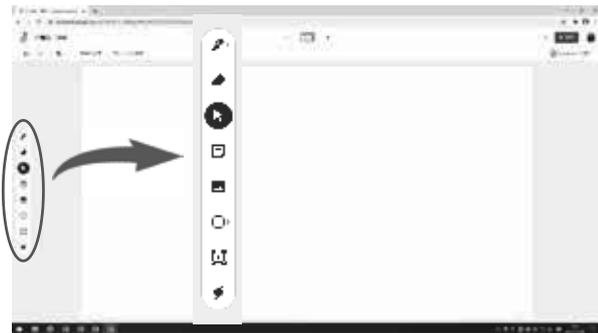
23 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



24 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Jamboardの使い方



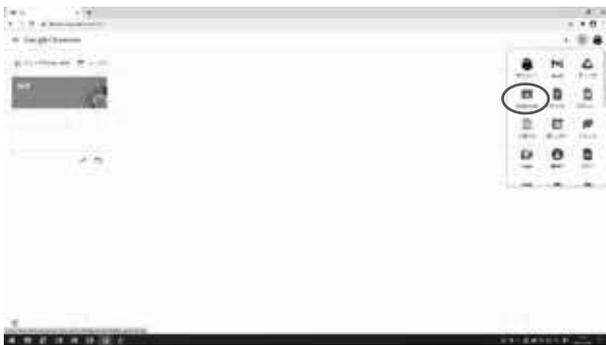
25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 1 B:赤城妙子さん



26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Classroomの使い方



27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## Classroomの使い方



28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ドキュメントでの課題配布



29 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 研究発表会の準備



30 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 研究発表会の準備



31 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 研究の様子

令和3年 2月17日(水) 9:00~15:00

【過酷】車椅子の方の生活を体験してみたらヤバかった！！！！



9:20前横浜駅の電車に乗ったよ！

駅員さんに許可を取り、車椅子で電車に乗らせていただきました！

ホームへの移動中は車椅子への視線がありました。その視線を受け取った感想としては、痛かったです。来ちゃいけないのかなと思えるくらいのものでした。



また、ホームが狭かったので移動が怖かったです。ずっと点字ブロックより外側を歩いている状態でした。待ってる人は避けてくれませんでした。

32 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 研究の様子



スロープを自分で登るのは女性や子供、高齢者など力が弱い方は難しいと思った。

でも、1人のときは、駅員さんが押してくれるので安心！

しかも

横に立っていてくれて、安心！



スロープを使うときは、早めに駅員さんに声をかけないと電車に間に合いません！笑

初めての車椅子だったので、モタモタしていたらギリギリセーフでした(・×・)

33 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



上手くできなくても  
やってみよう

やってみる勇気

34 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ◆科目16 「地域」を学ぶ授業の作り方（対象：全教員）

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士が地域を学ぶ必要性を理解できる</li> <li>・介護福祉士養成において学生が地域と関わることの必要性を理解できる</li> <li>・学生と地域資源のつながり方を学ぶことができる</li> <li>・実践を通してチームをマネジメントする必要性を理解できる</li> </ul>
講師	・吉岡 俊昭／トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科
研修概要	<p>(1) 概論：介護福祉士が地域を学ぶ必要性について</p> <p>(2) 実践報告：対象者の生活を地域で支える実践力の向上を目指し、本校では新たに「社会貢献活動」という授業科目を設置した。この授業のねらい、実践して見えてきた成果と課題について報告する</p>
時間数	30分

■介護福祉士が地域を学ぶ必要性について：新カリキュラムでは、チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充、対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上、介護過程の実践力の向上、認知症ケアの実践力の向上、介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上が掲げられている。本校ではその中でチームマネジメント能力の向上と、対象者の生活を地域で支える実践力に着目し、『社会貢献活動』という授業を始めた。現在の介護福祉施設の現状として、対象者が施設に入所してしまうと地域とのつながりが希薄になってしまい、施設の中だけで対象者の生活が送られている現状が多い。要介護状態になってもいつまでも住み慣れた地域で生活をするということは、たとえ介護福祉施設に入所したとしても、介護福祉士が中心となって関係各所に働きかけを行い、地域とのつながりが継続できるようにしていく必要があるのではないかと考える。

■『社会貢献活動』の狙い、実践してみえてきた成果と課題：本校の『社会貢献活動』を通して、地域の対象者はどのような生活をしているのか、地域資源にはどのようなものがあるのか、対象者の生活を地域で支えていく仕組みづくりのために自分たちに何ができるのか等を、学生が主体的に考え実践していけるような活動にしていきたいと考えている。

活動内容としては、1、2年生を合わせて8グループに分けて活動する。毎週水曜日の午前中を活動の日として、地域の100歳体操に参加して一緒に体操を行うグループ、地域の花壇のお世話や公園の草取りなどを地域の方と一緒にを行うグループ、地域のペタンクサークルと一緒に活動を行うグループ、地域のデイサービスセンターにレクリエーションをしに行くグループや地域の方々が家でも使える体操DVDを作るグループなどがある。その他にも小学校での福祉の授業や公民館活動などにもグループごとに参加している。それぞれがグループリーダーを中心に活動予定を立て、その日の活動をスマートフォンで共有しながら、毎回活動している。イベントなどでかかった費用や交通費などは月ごとにリーダーがまとめ事務室に請求するようにし、お金の管理も自分たちで行うようにしている。活動終了後にはその日の担当学生が日誌を書き、グループ内で回し、見た学生は確認印を押すようにし、活動内容をグループ全員で共有できるようにしている。

学生は介護福祉士になるために学校に入学してきており、介護福祉士は介護を必要とする人たちに支援をしていくことが仕事だと思っている。そのような学生が多い中で、介護福祉士の新たな可能性と、これから求められる介護福祉士の役割についてしっかりと説明したうえで、活動を行っている。1、2年生が一緒のグループになっていることで、2年生がリーダーとなり、1年生がフォロワーの役割を果たしながら、実践を通してチームマネジメントを学ぶことができている。また、自分たちのやりたいことを企画する企画力やイベントや行事を運営する実践力を養い、失敗することはあっても次につなげ楽しく学ぶことができている。

今年度はコロナの影響で活動が制限され、思うような活動ができていないグループもあったが、その中でも、学生たちがマスクを作って施設や地域に配布したり、今何ができるのかを考えて動く力が身についてきているように思う。今後の課題として、現在の活動は高齢者に関わることが多いが、最近では近隣の子どもたちも学校に集まるようになってきている。このことから高齢者や子どもたちといった近隣住民を、学校の活動を通してどのようにつなげていくかを学生と一緒に考えていきたいと思っている。そして、学校で学んだ地域に仕掛ける面白さと、『地域で生きる』を支えることの大切さを学生が就職した先で、今度は自分たちの施設を拠点に地域を巻き込みながら色々なことに挑戦してほしいと思っている。

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)  
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」  
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野IV 教育方法に関すること

## 科目16「地域」を学ぶ授業の作り方

公開期間：令和3年3月3日～12日

吉岡 俊昭 / トリニティカレッジ  
広島医療福祉専門学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の目的

- 介護福祉士が地域を学ぶ必要性を理解できる
- 介護福祉士養成において学生が地域と関わることの必要性を理解できる
- 学生と地域資源のつながり方を学ぶことができる
- 実践を通してチームをマネジメントする必要性を理解できる

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の流れ

(1)	介護福祉士が地域を学ぶ必要性	5分
(2)	学生がチームで行う地域活動の実践報告	20分
(3)	「地域」を学ぶ授業の成果と課題	5分

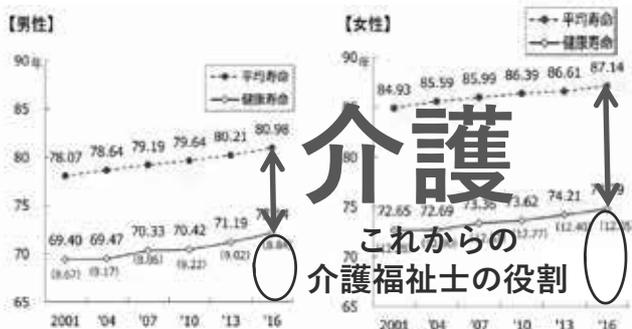
3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 介護福祉士養成課程の 教育内容の見直し（概要）

- ① チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充
- ② 対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上
- ③ 介護過程の実践力の向上
- ④ 認知症ケアの実践力の向上
- ⑤ 介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## これからの介護福祉士の役割



5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 介護福祉施設の地域における役割



6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 地域いきいきプロジェクト



学生数89名（2020年度） 1.2年生を8グループに分け  
2グループに1名の担当教員を配置

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 各グループの活動内容

	活動内容	関連機関等
1	トリニティ楽々体操（幟町）	地区社協、民生委員 町内会、地域包括、老人会
2	地域清掃、公民館活動、小学校訪問	
3	地域のデイサービスでレクリエーション巡り	高齢者施設
4	地域のデイサービスでレクリエーション巡り	高齢者施設
5	100歳いきいき体操（南区スーパー）	地域包括
6	地域の花壇や畑のお手伝い、買い物の付き添い	地域包括、老人会
7	地域で行う体づくり活動のお手伝い	地域包括、老人会
8	健康体操のDVDの作成	高齢者施設

毎週水曜日の午前中、担当グループで活動を実施

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## トリニティ楽々体操



毎週水曜日『いきいき100歳体操』の  
運営に関わらせてもらっています

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



体操の前にお話している様子

月に一度はお楽しみ会も実施

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 一昨年の忘年会の様子



11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 地域の広場で体力づくり（ペタンク）



13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 公民館でお楽しみ会の開催



14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 健康体操のDVD作成



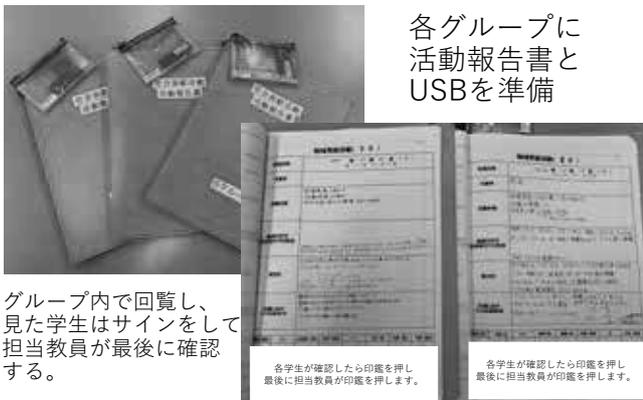
15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 地域の小学校訪問授業



16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 活動後は実施内容を報告書に記入



各グループに  
活動報告書と  
USBを準備

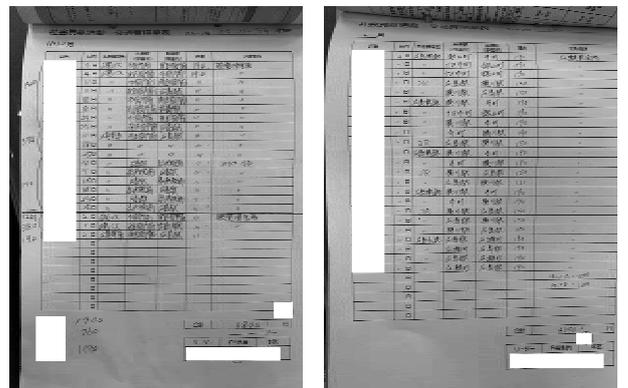
グループ内で回覧し、  
見た学生はサインをして  
担当教員が最後に確認  
する。

各学生が確認したら印鑑を押し  
最後に担当教員が印鑑を押しします。

各学生が確認したら印鑑を押し  
最後に担当教員が印鑑を押しします。

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 毎月諸経費を届出



18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 活動の成果

- 地域の方が学校の備品や空き教室を使いたいと言われるようになった。
- 地域の会議に呼ばれるようになった
- 学生が地域のお年寄りと同様になり、自分から声掛けができるようになった
- 1年、2年生の連携が取れるようになった
- 卒業して自分の職場でもやっていきたいという声が出るようになった
- 自分の学校を今まで以上に大事にするようになった
- 近くの小学生が学校帰りに寄ってくるようになった



19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 今後の課題

- 報告会の実施
- チーム内でのリーダーシップとフォロアーシップの強化
- 学生の発想力と実行力を引き出す環境作り
- 地域で暮らす高齢者の身近な困りごとへの対応
- 小学生と高齢者を学校を拠点につなげていく
- 学科教員が今以上に地域に興味を持ち自ら地域へ出向いていく

20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## まとめ

**福祉施設で活躍する介護福祉士の養成から  
地域で活躍する介護福祉士の養成へ**

21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

---

令和2年度社会福祉推進事業

「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」

**介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けた研修  
研修概要及び科目別資料集**

---

発行：令和3年3月

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

東京都文京区本郷 3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水 2階  
TEL：03-3830-0471 / FAX：03-3830-0472

---

